

●起連区の情報●

⑥連区の人口構成 R5.4.1

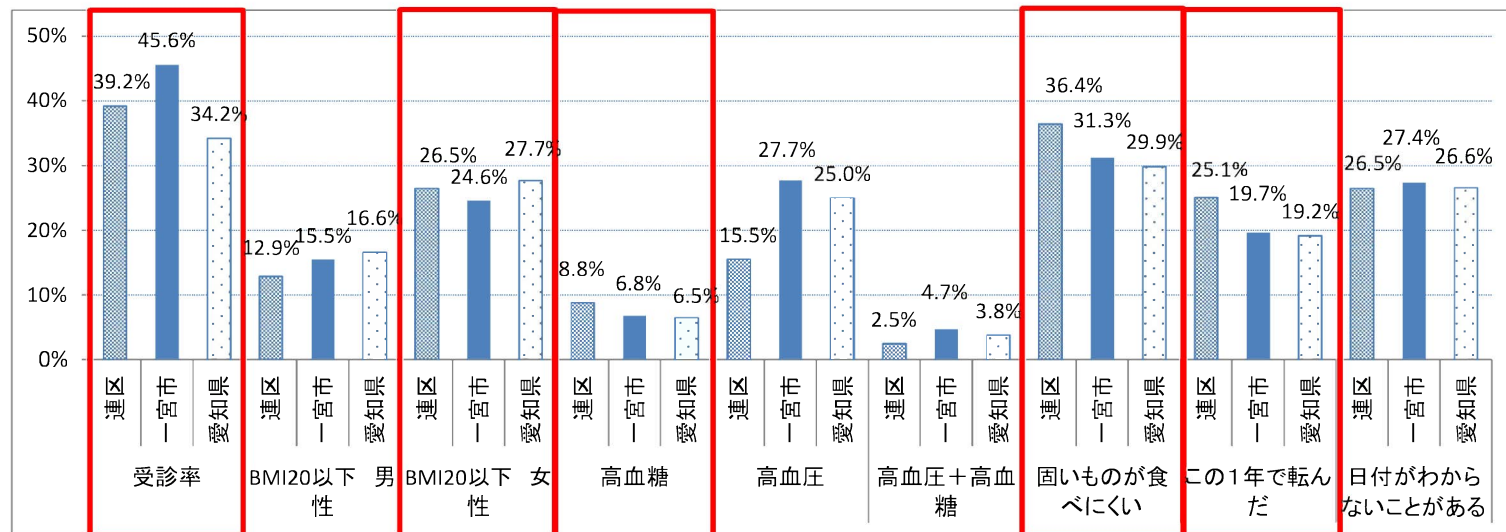
総人口： 3,252 人（男性 1,586人、女性 1,666人）

世帯数： 1,473

高齢化率： 29.1 %（市内高齢化率が高い順で2 3 連区中 8 番目）

⑦一宮市後期高齢者医療制度 健康診査（令和 4 年度）

被保険者人数 市 59,387 人 連区 616 人



「BMI 2 0 以下」、「固いものが食べにくい」、「この1年で転んだ」、「日にちがわからないことがある」の4点はフレイル（虚弱）に関する質問項目になります。

...改善したいもの

資料:KDBシステム

⑧地域活動（地域包括支援センター泰玄会や社会福祉協議会の活動より）

連区全体

- ・商店街住民が集まり、ラジオ体操を行っている。
- ・元薬局店主が「高齢者の健康」「安否を確認する」目的でラジオ体操を開催されている。
- ・小学校協力のもと、伝統芸能の継承や世代間交流を目的に「水天宮と六斎ばやし」の取り組みが続けられている。
- ・閉店された喫茶店を無料開放しており、近所の方や町内会合等が行われている。
- ・商店店主の高齢化が進んでおり、お互いに声を掛け合うなどのやりとりがある。
- ・青果店で利用客同士で井戸端会議が行われており、高齢者の大切な場所となっている。



ヴィレッジハウス

- ・集会場で小人数制のサロンが開催されている。

⑨データから見る地域の特徴と健康の課題

《市全体のこと》

- 平均的に要介護 2 以上の期間は、男性で1. 6 年、女性で3. 1 年。この期間を短くすると、自分のことが自分でできる期間が長くなる。今後の、健康増進、介護予防の取り組みでこの年数を減らすことが望まれる。

《連区のこと》

- 健診受診率は市と比べると低い。後期高齢者の健診は、フレイル健診とも言われ、知らない間に進むカラダの変化のチェックができる。生活の中の工夫で、病気や介護を遠ざけることもできるから、1 年に1 回利用しよう。



かかりつけ医を作り、病気だけではなく、カラダの変化も相談しよう。
今後の人生に楽しい時間が増えるかもしれません♪

- 健診結果から、「高血糖」が市よりも多い。「高血糖」になっても自覚症状はないから、病院で診てもらうことが必要。
- 質問票の結果から、BMI 2 0 以下の「低栄養」の割合は市よりも女性に多く、「固いものが食べにくい」、「この1年で転んだ」人の割合は、市よりも多い。フレイル予防の知識の普及と予防の取り組みを進める必要がある。



●地域活動について

転んだことのある人やお口の機能が気になる人が多く、フレイルに注意したい人が多そうだが、地域の中で「ラジオ体操」や小学生との交流、商店街での人との交流がフレイル予防にはよい活動になっている。



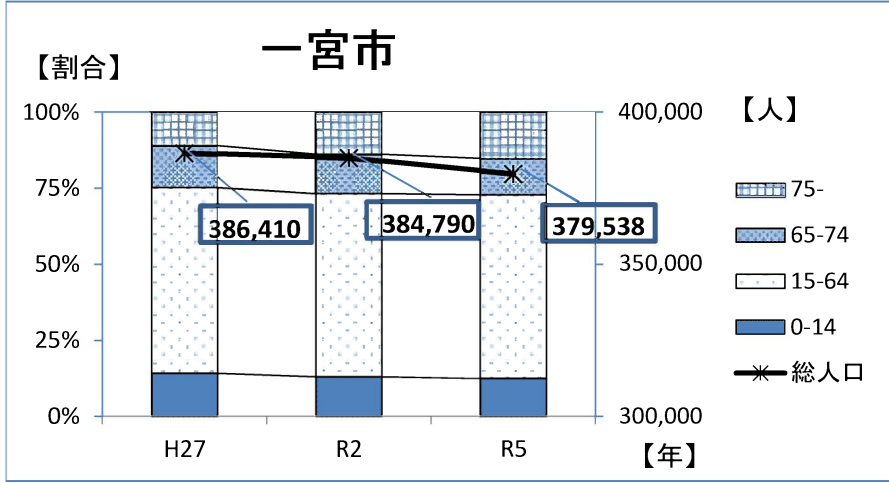
フレイル予防は、運動、食事、人との交流がキーポイント。
起連区の活動は、フレイル予防につながっているね！

一宮市の情報

一宮市の情報

①人口推移(各年4月1日)

②男女別年齢階級別人口(令和5年4月1日)



資料:住民基本台帳

③人口構成(令和5年4月1日 住民基本台帳)

総人口: 379,538 人(男性 185,327人、女性 194,211人)

世帯数: 166,564

高齢化率: 27.2% (参考: R4国29.1%、R4愛知県25.6%)

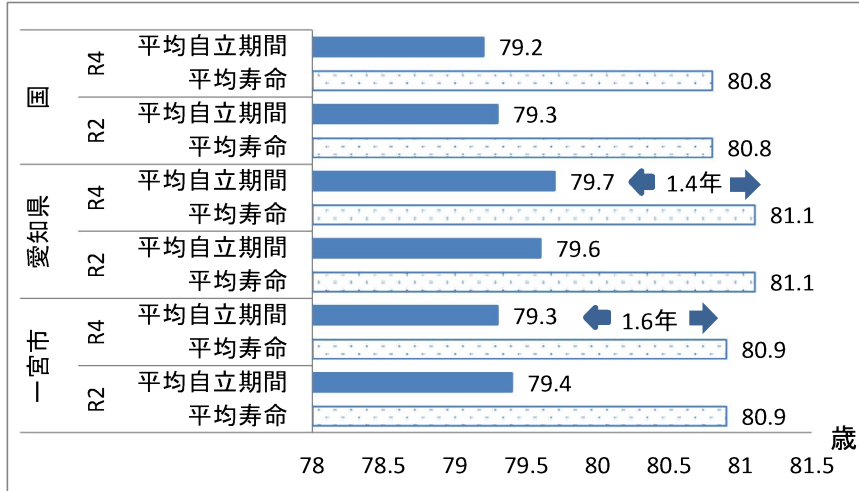
要介護認定率: 17.5% (令和5年9月末 第9期高齢者福祉計画)

③平均自立期間(市町村レベルの健康寿命の指標)

平均自立期間とは、日常生活動作が自立している期間の平均年数を示す。

要介護2以上を不健康状態と定義して、平均余命から不健康期間を除いたもので算出します。

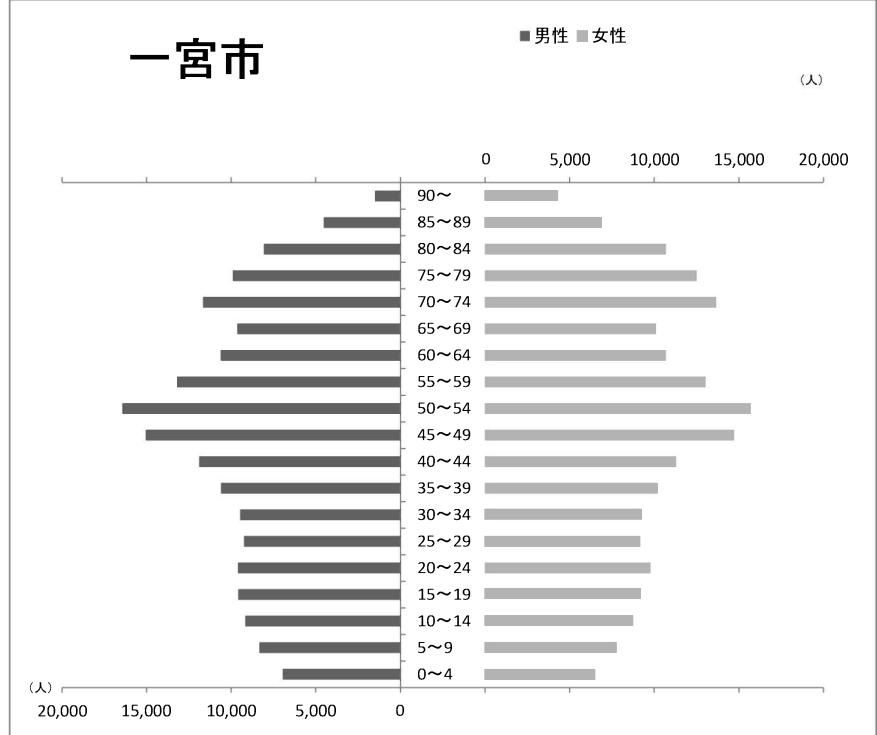
参考として、平均寿命を掲載しているが、単純に比較できるものではない。



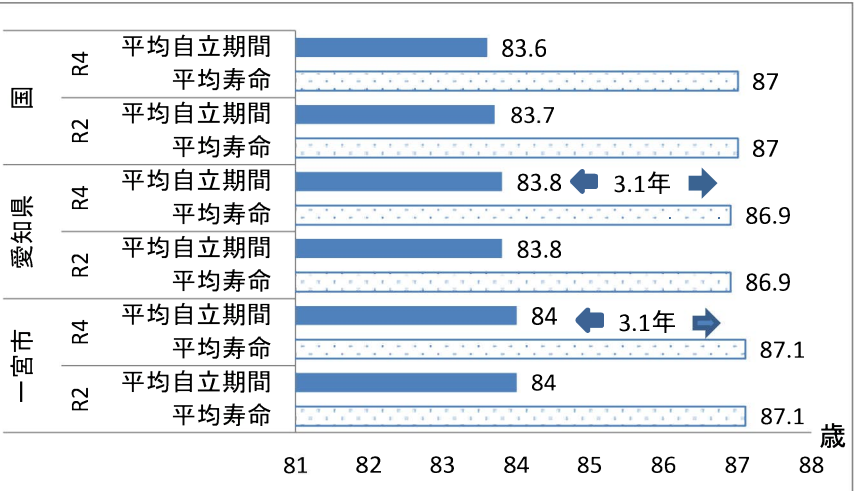
平均寿命は、男女とも、令和2、4年は同じ。愛知県よりも男性は0.2年短く、女性は、0.2年長い。

平均自立期間と平均寿命の差が、平均的な不健康期間となります。

一宮市の不健康期間が男性は約1.6年、女性は3.1年で、愛知県より不健康期間が男性は0.2年長く、女性は同等でした。

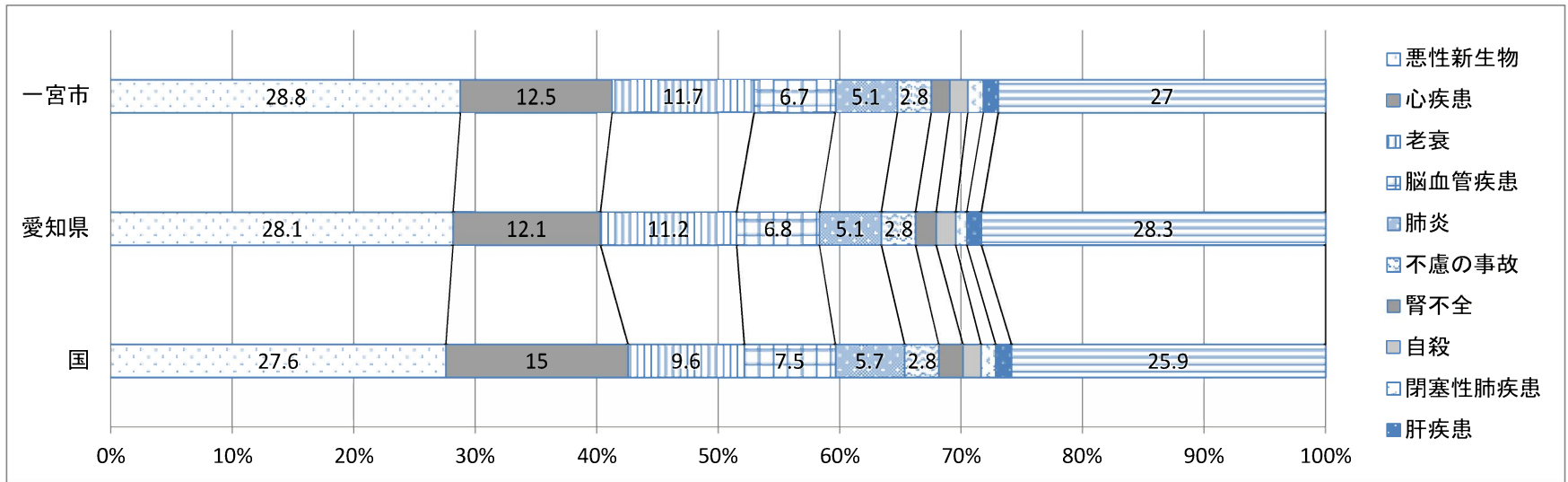


資料:住民基本台帳



資料:KDBシステム

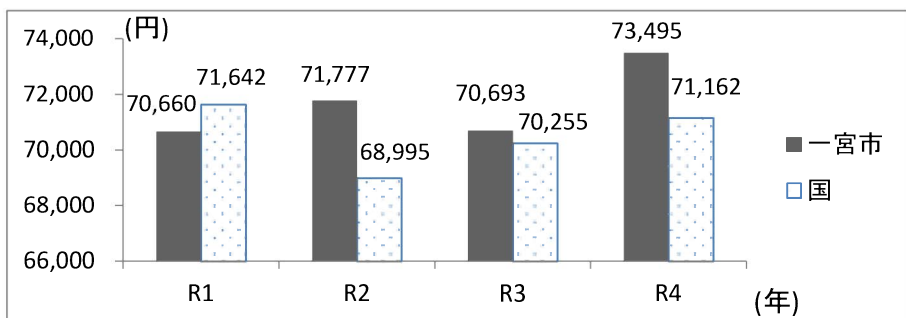
④主要死因別順位(令和2年度)



資料:健康日本21いちのみや計画

⑤後期高齢者医療保険制度 医療費データ

一人当たり医療費(一宮市)



死因の上位を悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病が占めているよ。
生活習慣病は、予防対策があるから、かかりつけ医や保健師に相談し、自分にあった対策を考えよう。
早めに対策することで医療費も安くなることもあるよ。



資料:KDBシステム